

令和元年度

岡山県後期高齢者医療広域連合

一般会計 歳入歳出決算審査意見書
特別会計

岡山県後期高齢者医療広域連合監査委員

目 次

各会計歳入歳出決算審査意見

第1 審査の対象	1
第2 審査の期日	1
第3 審査の方法	1
第4 審査の結果	1
1 決算の総括	2
(1) 決算規模	2
(2) 決算収支	3
2 一般会計	4
(1) 歳入	5
(2) 歳出	6
3 後期高齢者医療特別会計	8
(1) 歳入	9
(2) 歳出	14
4 財産に関する調書	17
5 むすび	18

(注) 文中の比率、各表の比率及び数値は、原則として表示の1桁下位で四捨五入した。
このため計数が一致しない場合がある。

令和元年度岡山県後期高齢者医療広域連合各会計歳入歳出決算審査意見

第1 審査の対象

令和元年度岡山県後期高齢者医療広域連合一般会計歳入歳出決算

令和元年度岡山県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
(決算附属書類)

令和元年度各会計歳入歳出決算事項別明細書

令和元年度各会計実質収支に関する調書

令和元年度財産に関する調書

第2 審査の期日

令和2年7月3日

第3 審査の方法

審査に当たっては、令和元年度岡山県後期高齢者医療広域連合各会計歳入歳出決算書及び証書類並びに歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書が関係法令に適合して調製されているかどうかを確認し、これらの計数を会計管理者所管の関係諸帳簿及び証拠書類と照合することにより実施した。

また、予算の執行状況等については、これらの資料のほか、例月出納検査及び定期監査の結果も考慮に入れながら、必要に応じ関係職員からの説明を聴取し、その適否について審査した。

第4 審査の結果

審査に付された各会計歳入歳出決算書等は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、計数は関係諸帳簿と符合し正確であると認めた。

また、予算執行では、歳入の一部に収入未済や不納欠損となっているものがあつたが、適正に執行されていると認めた。

なお、各会計の決算状況及びこれらに対する審査意見は、次のとおりである。

1 決算の総括

(1) 決算規模

一般会計及び特別会計の決算額は

歳入	2,821億8,245万5,691円	(予算現額に対する収入歩合	100.00%)
一般会計	7,503万2,642円	(同)	97.36%)
特別会計	2,821億742万3,049円	(同)	100.00%)
歳出	2,821億7,162万2,338円	(予算現額に対する執行率	100.00%)
一般会計	7,441万9,516円	(同)	96.57%)
特別会計	2,820億9,720万2,822円	(同)	100.00%)
歳入歳出差引額	1,083万3,353円		
一般会計	61万3,126円		
特別会計	1,022万227円		

となっている。

次に、決算規模の推移は、次表のとおりである。

決算規模の推移

年度	歳入		歳出	
	決算額	対前年度 増、減(△)額	決算額	対前年度 増、減(△)額
H29	273,901,951,202円	9,998,139,826円	273,802,254,845円	10,005,731,623円
H30	275,640,387,240円	1,738,436,038円	275,612,299,186円	1,810,044,341円
R元	282,182,455,691円	6,542,068,451円	282,171,622,338円	6,559,323,152円

(2) 決算収支

本年度決算収支の状況は次表のとおりで、一般会計及び特別会計の総額では、歳入歳出差引額 1,083 万 3,353 円の余剰金が生じており、実質収支として同額の黒字決算となっている。

決算収支の推移

区 分		令和元年度 円	平成30年度 円	平成29年度 円
歳入総額 A	一般会計	75,032,642	77,000,429	75,184,863
	特別会計	282,107,423,049	275,563,386,811	273,826,766,339
	計	282,182,455,691	275,640,387,240	273,901,951,202
歳出総額 B	一般会計	74,419,516	76,981,856	74,893,871
	特別会計	282,097,202,822	275,535,317,330	273,727,360,974
	計	282,171,622,338	275,612,299,186	273,802,254,845
歳入歳出差引額 (A-B) C	一般会計	613,126	18,573	290,992
	特別会計	10,220,227	28,069,481	99,405,365
	計	10,833,353	28,088,054	99,696,357
翌年度へ繰り 越すべき財源 (既収入財源) D	一般会計	0	0	0
	特別会計	0	0	0
	計	0	0	0
実質収支 (C-D) E	一般会計	613,126	18,573	290,992
	特別会計	10,220,227	28,069,481	99,405,365
	計	10,833,353	28,088,054	99,696,357
単年度収支 E-前年度のE	一般会計	594,553	△272,419	△2,888,399
	特別会計	△17,849,254	△71,335,884	△4,703,398
	計	△17,254,701	△71,608,303	△7,591,797

2 一般会計

一般会計の決算額は、歳入 7,503 万 2,642 円（予算現額に対する収入歩合 97.36%）、歳出 7,441 万 9,516 円（予算現額に対する執行率 96.57%）、歳入歳出差引額 61 万 3,126 円となっている。

次に、決算規模の推移は、次表のとおりである。

一般会計決算規模の推移

年度	歳 入		歳 出	
	決 算 額	対前年度 増、減(△)額	決 算 額	対前年度 増、減(△)額
H30	77,000,429円	1,815,566円	76,981,856円	2,087,985円
R元	75,032,642円	△1,967,787円	74,419,516円	△2,562,340円

本年度決算収支の状況は次表のとおりで、歳入歳出差引額 61 万 3,126 円の余剰金を生じており、実質収支として同額の黒字決算となっている。

一般会計決算収支の推移

区 分	令和元年度	平成30年度
歳入総額 A	75,032,642円	77,000,429円
歳出総額 B	74,419,516円	76,981,856円
歳入歳出差引額 (A-B) C	613,126円	18,573円
翌年度へ繰り 越すべき財源 (既収入財源) D	0円	0円
実質収支 (C-D) E	613,126円	18,573円
単年度収支 E-前年度のE	594,553円	△272,419円

(1) 歳 入

ア 決算状況

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

一般会計歳入決算状況

区 分		令和元年度 A	平成30年度 B	増、減(△) A-B
予 算 現 額		77,064,000円	80,462,000円	△3,398,000円
調 定 額		75,032,642円	77,000,429円	△1,967,787円
収 入 済 額	金 額	75,032,642円	77,000,429円	△1,967,787円
	予算現額に対する 比率(収入歩合)	97.36%	95.70%	1.66%
	調定額に対する 比率(収納率)	100.00%	100.00%	0.00%
収 入 未 済 額		0円	0円	0円
不 納 欠 損 額		0円	0円	0円

予算現額 7,706 万 4,000 円に対し、収入済額は 7,503 万 2,642 円で、前年度に比べ 196 万 7,787 円の減少となっている。

予算現額に対する収入歩合は 97.36%で、前年度に比べ 1.66 ポイント増加している。

調定額に対する収納率は 100.00%で、前年度と同率となっている。

イ 款別決算状況

款別の決算状況は、次表のとおりである。

款	令和元年度					平成30年度	増、減(△) C-D
	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入歩合 C/A	収入未済額 B-C	収入済額 D	
	円		円	%	円	円	円
分担金及び負担金	75,000,000	75,000,000	75,000,000	100.00	0	67,000,000	8,000,000
財 産 収 入	5,000	4,295	4,295	100.00	0	455	3,840
繰 越 金	18,000	18,573	18,573	100.00	0	290,992	△272,419
諸 収 入	8,000	9,774	9,774	100.00	0	8,982	792
繰 入 金	2,033,000	0	0	0.00	0	9,700,000	△9,700,000
合 計	77,064,000	75,032,642	75,032,642	100.00	0	77,000,429	△1,967,787

収入済額は 7,503 万 2,642 円で、この主なものは分担金及び負担金である。

なお、前年度と比較した主な増減要因については、市町村からの事務費負担金である分担金及び負担金 800 万円の増額、事務費不足分を財政調整基金から繰り入れる繰入金 970 万円の減額によるものである。

(2) 歳 出

ア 決算状況

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

一般会計歳出決算状況

区 分		令和元年度 A	平成30年度 B	増、減(△) A-B
予 算 現 額		77,064,000円	80,462,000円	△3,398,000円
支 出 済 額		74,419,516円	76,981,856円	△2,562,340円
執 行 率		96.57%	95.67%	0.89%
翌 年 度 繰 越 額	継 続 費 通 次 繰 越	0円	0円	0円
	繰 越 明 許 費	0円	0円	0円
	事 故 繰 越 し	0円	0円	0円
	計	0円	0円	0円
	予算現額に対する比率	0.00%	0.00%	0.00%
不 用 額		2,644,484円	3,480,144円	△835,660円

予算現額 7,706 万 4,000 円に対し、支出済額は 7,441 万 9,516 円で、前年度に比べ 256 万 2,340 円の減少となっている。

予算現額に対する執行率は 96.57%となっている。

翌年度繰越額は 0 円である。

また、不用額は 264 万 4,484 円で、前年度に比べ 83 万 5,660 円の減少となっている。

不用額の主なものは、総務費の職員手当等、役務費、負担金補助及び交付金等で、経費の縮減などによるものである。

イ 款別決算状況

款別の決算状況は、次のとおりである。

款・項	令和元年度					平成30年度	増、減(△) A-B 円
	予算現額 円	支出済額 A 円	執行率 %	翌年度 繰越額 円	不用額 円	支出済額 B 円	
議会費	1,080,000	725,337	67.16	0	354,663	747,712	△22,375
総務費	75,484,000	73,694,179	97.63	0	1,789,821	76,234,144	△2,539,965
総務管理費	75,260,000	73,501,449	97.66	0	1,758,551	76,083,457	△2,582,008
選挙費	134,000	129,058	96.31	0	4,942	92,687	36,371
監査委員費	90,000	63,672	70.75	0	26,328	58,000	5,672
予備費	500,000	0	0	0	500,000	0	0
計	77,064,000	74,419,516	96.57	0	2,644,484	76,981,856	△2,562,340

議会費は、予算現額 108 万円に対し、支出済額は 72 万 5,337 円、執行率 67.16%で、前年度に比べ 2 万 2,375 円の減少となっている。

総務費は、予算現額 7,548 万 4,000 円に対し、支出済額は 7,369 万 4,179 円、執行率は 97.63%で、前年度に比べ 253 万 9,965 円の減少となっている。

なお、前年度と比較した主な増減要因としては、総務費のうち総務管理費において、昨年度元号改正に伴うシステム対応を行ったことによる委託料が減少したことなどによるものである。

3 後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療特別会計の決算額は、歳入 2,821 億 742 万 3,049 円（予算現額に対する収入歩合 100.00%）、歳出 2,820 億 9,720 万 2,822 円（予算現額に対する執行率 100.00%）、歳入歳出差引額 1,022 万 227 円となっている。

次に、決算規模の推移は、次表のとおりである。

後期高齢者医療特別会計決算規模の推移

年度	歳 入		歳 出	
	決 算 額	対前年度 増、減(△)額	決 算 額	対前年度 増、減(△)額
H30	275,563,386,811円	1,736,620,472円	275,535,317,330円	1,807,956,356円
R元	282,107,423,049円	6,544,036,238円	282,097,202,822円	6,561,885,492円

本年度決算収支の状況は次表のとおりで、歳入歳出差引額 1,022 万 227 円の余剰金を生じており、実質収支として同額の黒字決算となっている。

後期高齢者医療特別会計決算収支の推移

区 分	令和元年度	平成30年度
歳入総額 A	282,107,423,049円	275,563,386,811円
歳出総額 B	282,097,202,822円	275,535,317,330円
歳入歳出差引額 (A-B) C	10,220,227円	28,069,481円
翌年度へ繰り 越すべき財源 (既収入財源) D	0円	0円
実質収支 (C-D) E	10,220,227円	28,069,481円
単年度収支 E - 前年度のE	△17,849,254円	△71,335,884円

(1) 歳 入

ア 決算状況

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

後期高齢者医療特別会計歳入決算状況

区 分		令和元年度 A	平成30年度 B	増、減(△) A-B
予 算 現 額		282,107,725,000円	275,562,999,000円	6,544,726,000円
調 定 額		282,113,344,185円	275,582,486,458円	6,530,857,727円
収 入 済 額	金 額	282,107,423,049円	275,563,386,811円	6,544,036,238円
	予算現額に対する 比率(収入歩合)	100.00%	100.00%	0.00%
	調定額に対する 比率(収納率)	100.00%	100.00%	0.00%
収 入 未 済 額		4,915,847円	5,792,984円	△877,137円
不 納 欠 損 額		1,005,289円	13,306,663円	△12,301,374円

予算現額2,821億772万5,000円に対し、収入済額は2,821億742万3,049円で、前年度に比べ65億4,403万6,238円の増加となっている。

予算現額に対する収入歩合は100.00%で、前年度と同率である。調定額に対する収納率は100.00%となっており、収入未済額は、前年度に比べ87万7,137円減少している。なお、不納欠損額100万5,289円で、前年度に比べ1,230万1,374円減少している。

イ 款別決算状況

款別の決算状況は、次表のとおりである。

款	令和元年度						平成30年度	増、減(△) C-E
	予算現額 A 円	調定額 B 円	収入済額 C 円	収入歩合 C/A %	不納欠損額 D 円	収入未済額 B-C-D 円	収入済額 E 円	
市町村支出金	47,598,152,000	47,597,463,222	47,597,463,222	100.00	0	0	45,656,177,252	1,941,285,970
うち保険料等負担金	25,108,257,000	25,107,569,004	25,107,569,004	100.00	0	0	24,216,831,252	890,737,752
うち療養給付費負担金	21,839,895,000	21,839,894,218	21,839,894,218	100.00	0	0	20,639,346,000	1,200,548,218
国庫支出金	93,480,223,000	93,480,225,636	93,480,225,636	100.00	0	0	91,941,812,838	1,538,412,798
うち療養給付費等負担金	67,369,049,000	67,369,049,663	67,369,049,663	100.00	0	0	65,807,257,800	1,561,791,863
うち高額医療費負担金	1,321,691,000	1,321,691,783	1,321,691,783	100.00	0	0	1,262,236,878	59,454,905
県支出金	22,905,049,000	22,905,049,974	22,905,049,974	100.00	0	0	22,208,244,105	696,805,869
うち療養給付費等負担金	21,544,870,000	21,544,870,191	21,544,870,191	100.00	0	0	20,907,521,227	637,348,964
うち高額医療費負担金	1,321,691,000	1,321,691,783	1,321,691,783	100.00	0	0	1,262,236,878	59,454,905
支払基金交付金	110,161,218,000	110,161,218,000	110,161,218,000	100.00	0	0	106,297,238,000	3,863,980,000
特別高額医療費共同事業交付金	85,320,000	85,320,155	85,320,155	100.00	0	0	85,042,875	277,280
財産収入	3,850,000	3,849,825	3,849,825	100.00	0	0	12,156,572	△8,306,747
繰入金	7,330,420,000	7,330,418,806	7,330,418,806	100.00	0	0	8,607,763,506	△1,277,344,700
繰越金	28,070,000	28,069,481	28,069,481	100.00	0	0	99,405,365	△71,335,884
諸収入	515,423,000	521,729,086	515,807,950	100.07	1,005,289	4,915,847	655,546,298	△139,738,348
計	282,107,725,000	282,113,344,185	282,107,423,049	100.00	1,005,289	4,915,847	275,563,386,811	6,544,036,238

前年度と比較した主な増減については、概算分の療養給付費負担金の増額により、市町村支出金が19億4,128万5,970円、対象経費となる保険給付費等の増加に伴い、国庫支出金が15億3,841万2,798円、支払基金交付金が38億6,398万円とそれぞれ増加したのに対して、後期高齢者医療給付費準備基金繰入金が12億7,734万4,700円の減額となっている。

なお、国・県・市町村の支出金及び支払基金交付金については、実績額に応じて、翌年度に精算を行うこととなっている。

保険料等負担金の内訳は次表のとおりである。

保険料等負担金内訳の状況

年度	保険料 円	延滞金 円	基盤安定分 円	計 円
H28	18,272,117,802	2,501,053	5,279,593,780	23,554,212,635
H29	19,269,331,765	3,750,889	5,400,201,020	24,673,283,674
H30	18,977,645,773	3,177,636	5,236,007,843	24,216,831,252
R元	19,906,730,526	3,759,234	5,197,079,244	25,107,569,004
H30-R元増減	929,084,753	581,598	△38,928,599	890,737,752

保険料等負担金は251億756万9,004円で、前年度に比べ8億9,073万7,752円の増加となっている。保険料率は前年度と同率・同額であるが、被保険者数の増加に伴い、現年度分保険料収入が増加したことによるものである。

保険料収入と被保険者数の状況は次表のとおりである。

保険料収入と被保険者数等の状況

年度	保険料収入 A	年間平均 被保険者数 B	年間平均 被保険者数 前年度対比	1人当たり 保険料収入	1人当たり 保険料収入 前年度対比
	円			円	
H28	18,272,117,802	275,094	6,630	66,421	5,224
H29	19,269,331,765	281,606	6,512	68,427	2,006
H30	18,977,645,773	287,535	5,929	66,001	△2,426
R元	19,906,730,526	293,938	6,403	67,724	1,723

保険料収入は199億673万526円で、前年度に比べ9億2,908万4,753円の増加となっている。

年間平均被保険者数は29万3,938人で、前年度に比べ6,403人の増加となっている。

1人当たりの保険料収入は6万7,724円で、前年度に比べ1,723円増加となっている。

保険料等負担金については、市町村が広域連合に納付すべき額を調定しているため調定額に対する収納率は100.00%となっている。保険料については、12、13ページの表のとおり市町村における調定額200億8,821万1,318円に対し、収納額は199億1,521万3,984円となっている。収納率については、現年分が99.53%で、前年度に比べ0.02ポイント上昇し、滞納繰越分が38.79%で、前年度に比べ1.04ポイント上昇し、合計では98.98%で、前年度に比べ0.04ポイント上昇している。不納欠損額については2,132万9,593円となっている。広域連合の保険料収入と市町村における収納額が異なるのは、広域連合への納付が翌月以降となるため、会計年度のずれにより生じるものである。

保険料の収納率向上は、財政の健全化において極めて重要であり、不納欠損処分は被保険者の不公平感を生み出す要因でもあることから、収納対策実施計画に基づき、市町村と連携を図りながら、積極的かつ効果的な収納対策に取り組まれるよう要望する。

また、諸収入において、一部負担金の負担割合に係る差額請求等における収入未済額が491万5,847円生じている。負担の公平性を確保する観点からも、収入未済額の早期解消に努められたい。

【参考】 令和元年度 各市町村が徴収する保険料収納状況

市町村名		調定額 A 円	収納額 B 円	還付未済額 C 円	収入未済額 A-(B-C) 円	収納率 (B-C)/A %	不納欠損額 円
岡山市	現年分	7,343,207,400	7,309,124,951	8,428,970	42,511,419	99.42	0
	滞納繰越分	82,195,202	27,867,339	91,076	54,418,939	33.79	10,886,316
	合計	7,425,402,602	7,336,992,290	8,520,046	96,930,358	98.69	10,886,316
倉敷市	現年分	4,840,836,500	4,821,249,360	2,731,900	22,319,040	99.53	0
	滞納繰越分	42,897,272	18,375,961	0	24,521,311	42.83	5,949,066
	合計	4,883,733,772	4,839,625,321	2,731,900	46,840,351	99.04	5,949,066
津山市	現年分	938,539,100	935,402,496	1,089,800	4,226,404	99.54	0
	滞納繰越分	7,652,429	2,741,313	0	4,911,116	35.82	809,480
	合計	946,191,529	938,143,809	1,089,800	9,137,520	99.03	809,480
玉野市	現年分	774,490,700	773,598,450	866,650	1,758,900	99.77	0
	滞納繰越分	8,169,450	2,395,752	0	5,773,698	29.32	223,800
	合計	782,660,150	775,994,202	866,650	7,532,598	99.03	223,800
笠岡市	現年分	538,379,200	537,007,650	837,400	2,208,950	99.58	0
	滞納繰越分	5,212,983	3,285,322	2,800	1,930,461	62.96	414,600
	合計	543,592,183	540,292,972	840,200	4,139,411	99.23	414,600
井原市	現年分	437,956,800	436,406,250	132,000	1,682,550	99.61	0
	滞納繰越分	3,137,124	1,015,550	0	2,121,574	32.37	266,950
	合計	441,093,924	437,421,800	132,000	3,804,124	99.13	266,950
総社市	現年分	674,375,200	672,331,800	2,178,700	4,222,100	99.37	0
	滞納繰越分	5,965,100	2,349,200	92,300	3,708,200	37.83	1,155,850
	合計	680,340,300	674,681,000	2,271,000	7,930,300	98.83	1,155,850
高梁市	現年分	349,752,800	349,742,000	1,535,800	1,546,600	99.55	0
	滞納繰越分	2,413,900	1,113,660	0	1,300,240	46.13	0
	合計	352,166,700	350,855,660	1,535,800	2,846,840	99.19	0
新見市	現年分	350,641,600	348,950,300	493,700	2,185,000	99.37	0
	滞納繰越分	3,159,900	830,500	0	2,329,400	26.28	0
	合計	353,801,500	349,780,800	493,700	4,514,400	98.72	0
備前市	現年分	416,643,400	417,814,550	2,631,750	1,460,600	99.64	0
	滞納繰越分	3,507,596	2,468,846	0	1,038,750	70.38	422,000
	合計	420,150,996	420,283,396	2,631,750	2,499,350	99.40	422,000
瀬戸内市	現年分	401,703,200	400,784,600	449,500	1,368,100	99.65	0
	滞納繰越分	2,316,876	438,463	0	1,878,413	18.92	566,431
	合計	404,020,076	401,223,063	449,500	3,246,513	99.19	566,431
赤磐市	現年分	493,844,600	493,280,500	532,000	1,096,100	99.77	0
	滞納繰越分	1,844,800	832,885	0	1,011,915	45.14	1,000
	合計	495,689,400	494,113,385	532,000	2,108,015	99.57	1,000
真庭市	現年分	462,156,900	464,591,300	3,057,700	623,300	99.86	0
	滞納繰越分	1,232,154	932,774	8,300	307,680	75.02	36,500
	合計	463,389,054	465,524,074	3,066,000	930,980	99.79	36,500
美作市	現年分	276,335,500	274,875,800	137,400	1,597,100	99.42	0
	滞納繰越分	2,261,700	556,500	0	1,705,200	24.60	174,800
	合計	278,597,200	275,432,300	137,400	3,302,300	98.81	174,800
浅口市	現年分	433,900,600	433,403,800	325,650	822,450	99.81	0
	滞納繰越分	4,799,580	2,423,644	800	2,376,736	50.48	62,500
	合計	438,700,180	435,827,444	326,450	3,199,186	99.27	62,500

市町村名		調定額 A 円	収納額 B 円	還付未済額 C 円	収入未済額 A-(B-C) 円	収納率 (B-C)/A %	不納欠損額 円
和気町	現年分	166,170,200	166,447,200	765,900	488,900	99.70	0
	滞納繰越分	1,259,100	664,200	3,000	597,900	52.51	320,400
	合計	167,429,300	167,111,400	768,900	1,086,800	99.35	320,400
早島町	現年分	149,748,000	149,286,200	96,200	558,000	99.62	0
	滞納繰越分	855,300	330,220	0	525,080	38.60	0
	合計	150,603,300	149,616,420	96,200	1,083,080	99.28	0
里庄町	現年分	123,361,500	123,323,100	1,100	39,500	99.96	0
	滞納繰越分	186,700	186,700	0	0	100.00	0
	合計	123,548,200	123,509,800	1,100	39,500	99.96	0
矢掛町	現年分	162,849,200	162,558,850	57,300	347,650	99.78	0
	滞納繰越分	357,950	291,500	0	66,450	81.43	0
	合計	163,207,150	162,850,350	57,300	414,100	99.74	0
新庄村	現年分	8,236,800	8,238,200	1,400	0	100.00	0
	滞納繰越分	0	0	0	0		0
	合計	8,236,800	8,238,200	1,400	0	100.00	0
鏡野町	現年分	109,426,800	109,293,700	1,100	134,200	99.87	0
	滞納繰越分	438,700	265,700	0	173,000	60.56	39,900
	合計	109,865,500	109,559,400	1,100	307,200	99.72	39,900
勝央町	現年分	91,265,300	90,976,400	147,800	436,700	99.52	0
	滞納繰越分	178,300	60,600	0	117,700	33.98	0
	合計	91,443,600	91,037,000	147,800	554,400	99.39	0
奈義町	現年分	50,981,000	50,862,900	45,700	163,800	99.67	0
	滞納繰越分	193,150	193,150	0	0	100.00	0
	合計	51,174,150	51,056,050	45,700	163,800	99.67	0
西粟倉村	現年分	11,936,400	11,936,400	0	0	100.00	0
	滞納繰越分	0	0	0	0		0
	合計	11,936,400	11,936,400	0	0	100.00	0
久米南町	現年分	56,204,300	56,109,900	23,500	117,900	99.79	0
	滞納繰越分	174,400	83,700	0	90,700	47.99	0
	合計	56,378,700	56,193,600	23,500	208,600	99.63	0
美咲町	現年分	146,669,700	146,732,200	683,100	620,600	99.57	0
	滞納繰越分	720,922	655,618	0	65,304	90.94	0
	合計	147,390,622	147,387,818	683,100	685,904	99.53	0
吉備中央町	現年分	97,277,600	100,317,200	3,340,900	301,300	99.69	0
	滞納繰越分	190,430	208,830	20,100	1,700	99.10	0
	合計	97,468,030	100,526,030	3,361,000	303,000	99.68	0
合計(Ⅰ)	現年分	19,906,890,300	19,844,646,057	30,592,920	92,837,163	99.53	0
	滞納繰越分	181,321,018	70,567,927	218,376	110,971,467	38.79	21,329,593
	合計	20,088,211,318	19,915,213,984	30,811,296	203,808,630	98.98	21,329,593
【参考】 平成30年度 合計(Ⅱ)	現年分	18,973,740,500	18,909,147,063	27,926,438	92,519,875	99.51	76,600
	滞納繰越分	176,088,547	67,431,682	949,832	109,606,697	37.75	19,859,954
	合計	19,149,829,047	18,976,578,745	28,876,270	202,126,572	98.94	19,936,554
差引増減 (Ⅰ-Ⅱ)	現年分	933,149,800	935,498,994	2,666,482	317,288	0.02	△ 76,600
	滞納繰越分	5,232,471	3,136,245	△ 731,456	1,364,770	1.04	1,469,639
	合計	938,382,271	938,635,239	1,935,026	1,682,058	0.04	1,393,039

(2) 歳 出

ア 決算状況

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

後期高齢者医療特別会計歳出決算状況

区 分		令和元年度 A	平成30年度 B	増、減(△) A - B
予 算 現 額		282,107,725,000円	275,562,999,000円	6,544,726,000円
支 出 済 額		282,097,202,822円	275,535,317,330円	6,561,885,492円
執 行 率		100.00%	99.99%	0.01%
翌年度繰越額	継続費通次繰越	0円	0円	0円
	繰越明許費	0円	0円	0円
	事故繰越し	0円	0円	0円
	計	0円	0円	0円
	予算現額に対する比率	0.00%	0.00%	0.00%
不 用 額		10,522,178円	27,681,670円	△17,159,492円

予算現額 2,821 億 772 万 5,000 円に対し、支出済額は 2,820 億 9,720 万 2,822 円で、前年度に比べ 65 億 6,188 万 5,492 円の増加となっている。

予算現額に対する執行率は 100.00%となっている。

また、不用額は 1,052 万 2,178 円で、前年度に比べ 1,715 万 9,492 円の減少となっている。

イ 款別決算状況

款別の決算状況は、次表のとおりである。

款・項	令和元年度					平成30年度 支出済額 B	増、減(△) A - B
	予算現額 円	支出済額 A 円	執行率 %	翌年度 繰越額 円	不用額 円		
総 務 費	800,020,000	800,006,288	100.00	0	13,712	888,739,455	△ 88,733,167
保 険 給 付 費	269,162,018,000	269,162,015,172	100.00	0	2,828	259,818,028,260	9,343,986,912
特別高額医療費 共同事業拠出金	102,813,000	102,811,194	100.00	0	1,806	97,454,004	5,357,190
保 健 事 業 費	337,469,000	337,469,000	100.00	0	0	319,044,000	18,425,000
基 金 積 立 金	5,489,622,000	5,479,620,524	99.82	0	10,001,476	5,994,965,585	△ 515,345,061
諸 支 出 金	6,215,283,000	6,215,280,644	100.00	0	2,356	8,417,086,026	△ 2,201,805,382
うち被保険者還付金	25,839,000	25,838,238	100.00	0	762	21,192,320	4,645,918
うち国庫負担金等償還金	6,189,202,000	6,189,201,706	100.00	0	294	8,395,519,706	△2,206,318,000
予 備 費	500,000	0	0.00	0	500,000	0	0
計	282,107,725,000	282,097,202,822	100.00	0	10,522,178	275,535,317,330	6,561,885,492

支出総額は 2,820 億 9,720 万 2,822 円で、この主なものは保険給付費、翌年度における精算のための基金積立金、前年度精算のための償還金である。

支出総額の内、増加の主な要因については、保険給付費は被保険者の増加に伴う療養給付費等が 93 億 4,398 万 6,912 円増加したものである。支出総額の内、減少の主な要因については、国庫負担金等償還金が 22 億 631 万 8,000 円減少したものである。

不用額の主なものは、予備費などである。

保健事業については、被保険者の健康保持増進のため策定したデータヘルス計画を基本とし、その目標達成のため市町村との協力・連携を深め、より効果的かつ効率的な事業の実施を図られたい。

療養諸費の状況は次表のとおりである。

療 養 諸 費 の 状 況

年度	療養諸費額 A	前年度比	年間平均 被保険者数 B	療養諸費 件数 C	一人当たり の療養諸費 A	一人当たり の年間受診件数 C
	円				%	人
H28	234,907,015,451	99.79	275,094	8,011,579	853,915	29.12
H29	242,776,800,885	103.35	281,606	8,212,539	862,115	29.16
H30	247,794,962,996	102.07	287,535	8,381,875	861,791	29.15
R元	256,441,996,023	103.49	293,938	8,612,444	872,436	29.30

注)「療養諸費額」は、入院時療養費や療養費を含む「療養給付費」、「訪問看護療養費」及び「移送費」の合計額。
(※「審査支払手数料」除く)

高額療養諸費の状況は次表のとおりである。

高 額 療 養 諸 費 の 状 況

年度	高額療養諸費額 A	前年度比	年間平均 被保険者数 B	高額療養 諸費件数 C	一人当たり の高額療養諸費 A
	円				%
H28	10,763,366,214	100.57	275,094	583,843	39,126
H29	10,770,135,669	100.06	281,606	572,266	38,245
H30	10,568,427,962	98.13	287,535	524,245	36,755
R元	11,265,833,987	106.60	293,938	538,916	38,327

(注)「高額療養諸費額」は、「高額療養費」と「高額介護合算療養費」の合計額。

高額療養諸費額が前年度比 106.60%となった主な要因は、被保険者の増加や令和元年 10 月の消費税引き上げに伴う診療報酬改定により、保険者が負担する高額療養費が増加したことによるものである。

保健事業費の状況は次表のとおりである。

保健事業による健康診査の受診状況

年度	対象者数 A	受診者数 B	受診率 B A	受診率の増減
	人	人	%	%
H28	254,857	34,710	13.62	0.42
H29	262,454	36,796	14.02	0.40
H30	264,982	37,563	14.18	0.16
R元	271,287	39,498	14.56	0.38

(注1)「対象者数」は4月1日現在の被保険者数から受診対象外者を引いた数。

(注2)「受診者数」は個別健診、集団健診の合計。

(注3)「対象者数」は生活習慣病通院者等を含めた数。

【参考】各市町村健診受診者数の状況

市町村名	被保険者数 (4月1日被保険者数) 人	対象者数 人	集団健診			個別健診			受診者数計 人	受診率 %
			課税 人	非課税 人	小計 人	課税 人	非課税 人	小計 人		
1 岡山市	91,313	89,543	6	2	8	11,385	1,195	12,580	12,588	14.06
2 倉敷市	64,765	63,605	1,986	599	2,585	3,213	1,955	5,168	7,753	12.19
3 津山市	16,150	14,589	132	71	203	1,741	997	2,738	2,941	20.16
4 玉野市	11,449	11,179	11	1	12	1,072	172	1,244	1,256	11.24
5 笠岡市	9,507	9,352	542	248	790	241	147	388	1,178	12.60
6 井原市	8,278	8,321	258	417	675	299	789	1,088	1,763	21.19
7 総社市	9,557	9,090	247	0	247	169	0	169	416	4.58
8 高梁市	7,223	6,991	120	73	193	54	31	85	278	3.98
9 新見市	7,139	6,304	611	309	920	159	76	235	1,155	18.32
10 備前市	7,171	6,832	21	11	32	1,230	653	1,883	1,915	28.03
11 瀬戸内市	6,388	5,969	134	48	182	300	118	418	600	10.05
12 赤磐市	7,094	6,965	0	0	0	255	75	330	330	4.74
13 真庭市	9,795	9,254	150	68	218	1,462	694	2,156	2,374	25.65
14 美作市	6,292	6,178	564	396	960	0	0	0	960	15.54
15 浅口市	6,738	605	95	22	117	46	12	58	175	28.93
16 和気町	2,971	1,546	0	0	0	246	127	373	373	24.13
17 早島町	1,749	1,707	236	61	297	25	9	34	331	19.39
18 里庄町	1,788	1,598	327	113	440	0	0	0	440	27.53
19 矢掛町	3,002	1,413	302	99	401	0	0	0	401	28.38
20 新庄村	241	220	19	7	26	3	1	4	30	13.64
21 鏡野町	2,609	2,588	310	201	511	132	147	279	790	30.53
22 勝央町	1,811	1,808	185	80	265	0	0	0	265	14.66
23 奈義町	1,093	1,086	160	52	212	0	0	0	212	19.52
24 西粟倉村	301	301	33	32	65	2	0	2	67	22.26
25 久米南町	1,225	1,200	71	91	162	0	0	0	162	13.50
26 美咲町	3,249	1,904	408	215	623	0	0	0	623	32.72
27 吉備中央町	2,594	1,139	43	28	71	14	37	51	122	10.71
合計(I)	291,492	271,287	6,971	3,244	10,215	22,048	7,235	29,283	39,498	14.56
H30年度実績(II)	285,214	264,982	6,459	2,986	9,445	21,107	7,011	28,118	37,563	14.18
増減(I-II)	6,278	6,305	512	258	770	941	224	1,165	1,935	0.38

4 財産に関する調書

令和元年度における財産の取得及び処分の異動状況は、次のとおりである。

(1) 公有財産

本年度末における公有財産はなく、本年度中の異動はない。

(2) 物品

本年度末における取得金額 100 万円以上の物品は 3 点で、本年度中の異動はない。

(3) 債権

本年度末における債権はなく、本年度中の異動はない。

(4) 基金

本年度末における基金は、前年度末より、岡山県後期高齢者医療広域連合財政調整基金が 1 万 4,295 円の増加、岡山県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療給付費準備基金は 4 億 8,588 万 3,852 円減少している。減少した主な要因は、平成 30 年度分療養給付費の精算に伴う市町村からの療養給付費追加納付分の基金への積立が出納整理期間中の 4 月となったことによるものである。

基金名	平成30年度末 現在高	令和元年度中 増減	令和元年度末 現在高
岡山県後期高齢者医療広域連合 財政調整基金	10,439,710	14,295	10,454,005
岡山県後期高齢者医療広域連合 後期高齢者医療給付費準備基金	7,305,429,409	△ 485,883,852	6,819,545,557
計	7,315,869,119	△ 485,869,557	6,829,999,562

5 むすび

令和元年度の決算審査の概要は以上のとおりである。

○ 決算規模・実質収支について

決算規模は一般会計、特別会計を合わせた総額で、歳入 2,821 億 8,245 万円、歳出 2,821 億 7,162 万円となり、前年度に比べ歳入は 65 億 4,207 万円、歳出は 65 億 5,932 万円それぞれ増加している。

また、本年度の決算収支をみると、形式収支（歳入歳出差引額）は、一般会計で 61 万円の黒字、特別会計で 1,022 万円の黒字となっており、実質収支も同額の黒字決算となっている。

○ 歳入の状況について

予算現額に対する歳入決算額の割合は、一般会計で 97.36%、特別会計で 100.00%となっている。また、調定額に対する割合は一般会計で 100.00%、特別会計で 100.00%となっているが、特別会計において、返納金の収入未済額が約 441 万円生じているので、その解消に努められたい。

さらに、市町村における保険料の収納率は、現年分と滞納繰越分を合わせて 98.98%で前年度比 0.04%上昇しており、2 億 381 万円の収入未済額が生じている。保険料の収納額は前年度に比べ 9 億 3,864 万円増加しており、収入未済額は前年度に比べ 168 万円増加している。財政の健全化と被保険者間の公平性を保つためにも、引き続き市町村と連携を図りながら収納対策に取り組むことが重要である。

○ 歳出の状況について

予算現額に対する歳出決算額の割合は、一般会計で 96.57%、特別会計で 100.00%となっており、一般会計で 264 万円、特別会計で 1,052 万円の不用額が生じている。

特別会計の歳出決算においては、主たるものが保険給付費であり、この保険給付費は前年度と比較して 93 億 4,398 万円増加している。保険給付費増加の主な要因としては、被保険者数の増加によるものである。今後も被保険者数の増加に伴い医療給付費の増加が見込まれるため、医療費の適正化に継続して努める必要がある。

○ 今後の運営について

平成 20 年 4 月に後期高齢者医療制度が創設され 12 年が経過したが、制度開始時の被保険者数約 23 万 7 千人から、令和元年度末では約 29 万 7 千人と約 6 万人も増加している。さらに、「団塊の世代」が全て 75 歳以上となる令和 7 年度に向け、被保険者数の増加が見込まれ、被保険者数の増加に伴う医療給付費の増嵩により、厳しい事業運営を強いられることが懸念される。

また、保険料軽減特例等の段階的な見直しが行われているが、被保険者に対し混乱や不

安を招かぬよう、広域連合として引き続き十分な周知、広報及び丁寧な説明に努められたい。

国において高齢者の健康寿命の延伸を図るため、令和元年5月に「高齢者の医療の確保に関する法律」の改正が行われ、令和2年度から実施される「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」に向けて、国、広域連合、市町村のそれぞれの役割が示されるなど、高齢者保健事業への取り組み強化が求められている。広域連合においても効果的な高齢者保健事業に向け、市町村や関係医療機関等と連携し取り組まれない。

国の動向や社会情勢を的確に把握した予算編成を行い、計画的な資金収支に留意して確実かつ効果的な運用に努め、被保険者が安心して医療を受けることができるよう鋭意努力されたい。